

ア ニ ュ ア ル レ ポ ー ト

ANNUAL REPORT 2022

神奈川県立産業技術短期大学校
産業技術短期大学校職業能力開発推進協議会

ア ニ ュ ア ル レ ポ ー ト

ANNUAL REPORT 2022

神奈川県立産業技術短期大学校
産業技術短期大学校職業能力開発推進協議会

も く じ

1. あいさつ	1
2. 学校概要	
2-1 本校の成り立ちと教育訓練目標	3
2-2 本校の特色	3
2-3 沿革	4
2-4 組織	4
2-5 定員・授業料等	5
2-6 入学試験実施状況(令和4年度・第28期生)	6
2-7 学年別応募・入学状況	6
2-8 就職の状況(令和3年度)	7
2-9 年度別就職状況	10
2-10 年度別就職先企業一覧	11
2-11 令和3年度トピックス	12
2-12 第16回若年者ものづくり競技大会	14
2-13 公開講座(グッドヒューマンネットワーク講座)	15
2-14 令和3年度年間行事	16
2-15 企業在職者のための能力開発施設としての機能	17
2-16 人材育成支援センターとしての機能	18
3. 学科紹介	21
4. 学生卒業制作・研究報告	32
5. 講師研究報告	41
6. 産業技術短期大学校職業能力開発推進協議会	
6-1 目的	68
6-2 沿革	68
6-3 概要	68
6-4 推進協議会の事業	69
6-5 令和3年度実施事業報告	70
6-6 令和3年度実施事業一覧	72
6-7 講演会	73
6-8 役員、会員一覧	75
令和4年度役員名簿	76
会員名簿	77
案内図	86

1. あいさつ

神奈川県立産業技術短期大学校

校長 松永 和彦



本校並びに職業能力開発推進協議会の年間の研究成果と事業報告をまとめた「アニュアルレポート2022」の発行にあたり、ご挨拶を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行は3年目を迎えましたが、いまだ収束の兆しが見えません。ワクチンと共に治療薬の早期開発を期待したいところです。世界情勢は、ロシアによるウクライナ侵攻が世界を巻き込んだ大きな問題となっています。これらの様々な課題を解決する大切な取組みとして、SDGsを進める必要があります。特に産業界では、地球環境問題解決のため脱炭素社会の構築が必須です。そのため、DXやIoT等の技術がものづくり分野に重要と考え、授業に取り組んで参ります。

本校に目を転じますと、十分なコロナ対策を施し、参加者を絞った形ではありますが、3月17日の卒業式、4月5日の入学式を学校の行事として無事開催することができました。特に卒業式は、第一期留学生が卒業する節目の式でありました。また、コロナ対策の新しい手法として、オンラインでの授業、面接、会議、講演会などを実施しました。職業能力開発推進協議会の令和3年度の理事会も、すべてZoomによるオンライン形式で開催しましたが、令和4年度の第一回理事会は、久しぶりに対面で実施しました。しばらくコロナと共存していく事を考えますと、新しい方法を導入しつつ、対面によるコミュニケーションの利点も活かしながら、様々な行事を安全に、かつ効果的に開催して参りたいと思います。

さて、会員企業の皆様にはインターンシップの受け入れ、情報交流会・合同企業説明会など、多大なご協力を頂いておりますが、就職に関しては、依然厳しい状況が続いておりますので、会員企業の皆様の更なるご協力を賜りたくお願い申し上げます。また、各種競技会への参加、求職者・在職者の方を対象とした訓練の実施、講師研究による産業界のニーズにマッチした職業訓練カリキュラムの開発、中小企業の人材育成・職業訓練への支援にも取り組んでおります。「西キャンパスの再整備事業」は、今年12月に建物が完成予定となっており、「かながわIT人材教育モデルP-TECH」も順調に進行しております。

このような中、本校の最も大きな課題として、入学生の定員割れの問題があります。昨年度と比較しますと、応募者数は183名と、24名ほど増えました。このことは、これまでの取組みの成果と捉えていますが、未だ製造3科（生産技術科、制御技術科、電子技術科）が厳しい状況にありますので、今年度も継続して「KCIT*あり方」と題した取組みを実施して参ります。

これからも皆様のご意見を伺い、本校の事業内容のさらなる充実を図って参りますので、引き続きご指導・ご支援をよろしくお願いいたします。

(*KCITは、本校の英語名称Kanagawa Prefectural Junior College for Industrial Technologyの略称)

産業技術短期大学校職業能力開発推進協議会

会長 安藤 孝男



令和3年度も、新型コロナウイルス感染症の猛威は収まらず、様々な社会活動が制約を受けました。当協議会も、対面での活動を自粛し、オンラインを活用したセミナーや会議を実施してきました。このような取組みの経験は、今後の協議会運営の柱となっていくと考えます。

さて、2月に始まったロシアによるウクライナ軍事侵攻によって、世界のビジネスが揺らいでいます。日本企業でもウクライナに進出している企業は数多くあり、世界規模で経済が大きな影響を受けています。今後、我が国に於いても資源・エネルギー価格の上昇や円安が加速するなど、物価上昇に歯止めがかからない状況が想定され、景気への負の影響が続くことが懸念されます。

こうしたなかで、2022年4月には、中小企業庁から「2022年版中小企業白書・小規模企業白書」が発表されました。このなかで、本協議会に関係することをご紹介します。「中小企業が重視する経営資源は、『ヒト』、『モノ』、『カネ』、『情報』と大別されることが多く、その中でも『ヒト』は、他の経営資源を使う主体であり、特に重視されること多い。」と報告されています。さらに、「企業は従業員の能力開発を行い、また、適切な人事施策により、従業員の能力やモチベーションを高める取組みを実施することが重要である。」と報告されています。

本協議会は、短大校が推進する教育訓練への支援、会員企業の人材育成に関する支援、会員相互の情報共有を目的に活動しています。会員数は、令和4年6月1日現在で373会員となり、多くの会員に活動を支えていただいております。

新型コロナウイルスの新たな感染者は減少傾向にありますが、「withコロナ」時代の新しいライフスタイルを実践しながら、協議会の運営を進めて参りますので、引き続きご協力を賜りますようお願い申し上げます。

このレポートを通じて、短大校と推進協議会のこの1年間の活動状況についてご理解を深めていただけることを願っております。

2. 学校概要

神奈川県立産業技術短期大学校

管理課

学生課

産業技術課

生産制御課

電子情報課

人材育成支援課（人材育成支援センター）



2-1 本校の成り立ちと教育訓練目標

本校は、企業ニーズに対応した高度で専門的な知識・技術を有するエンジニア養成を目的として、神奈川県が設置運営する職業能力開発短期大学校です。

学校教育法を設置根拠とする大学・短期大学とは異なり、「職業能力開発促進法」に基づき設置されている「職業能力開発施設」という位置付けになります。

同法を設置根拠とする施設のうち、職業能力開発校（本県では総合職業技術校）が学卒者、離転職者及び在職者を対象として期間、内容ともに幅広い訓練（普通課程等）を行うのに対し、本校は新規学卒者を主対象にした2年間の訓練（専門課程）を行い、「実践技術者」を育成します。

この実践技術者とは、専門的な技術・知識とものづくりに関する幅広い高度の技能を併せ持ち、豊かな創造力と優れた行動力を兼ね備えた課題解決型人材と定義付けています。

平成7年4月1日の開校以後、企業の皆様方に本校の実践技術者育成方針を評価していただき、高い就職率のもと、製造業を中心とする多くの企業様に卒業生を送り出しています。

2-2 本校の特色

本校は前述のとおり「教育・研究施設」ではなく、あくまで職に就くための知識や技術を身に付ける「職業能力開発施設」ですので、授業カリキュラムは企業において求められる実践的な知識・技術の修得をめざした構成になっています。

授業カリキュラムは二年制の短期大学校でありながら、必須履修単位数 156 単位、総授業時間数 2800 時間となっており、4年制大学（文科系）の授業量に匹敵するボリュームの教育訓練を行っています。総授業時間に占める実習・実技の割合は6割以上にのぼり、一人1台の機器での実習や少人数教育制とあいまって、確かな技術の修得を可能としています。さらに、専門科目の学科や実験・実習のほか、英語、社会経済概論、ビジネスマナーなどの教養科目も充実しています。

また、学生は企業実習（インターンシップ）を経験しているため、就職先のミスマッチも少なく、就職後も意欲とやりがいを持って仕事に取り組むことができます。そして、卒業生の頑張りが、企業様から高い評価をいただいているという好循環を生んでいます。



学科構成は5学科で、生産技術科、制御技術科、電子技術科、産業デザイン科、情報技術科となっています。各学科の定員は40名で、1学年200名、全学年400名の定員です。

なお、令和2年度から受け入れを開始した留学生の1期生8名が、令和4年3月に卒業しました。

また、神奈川県、神奈川県教育委員会、日本アイ・ビー・エム株式会社が連携して取り組んでいる「かながわIT人材教育モデルP-TECH」は、2年目を迎えています。令和6年度にP-TECH生として本校に入学する予定です。

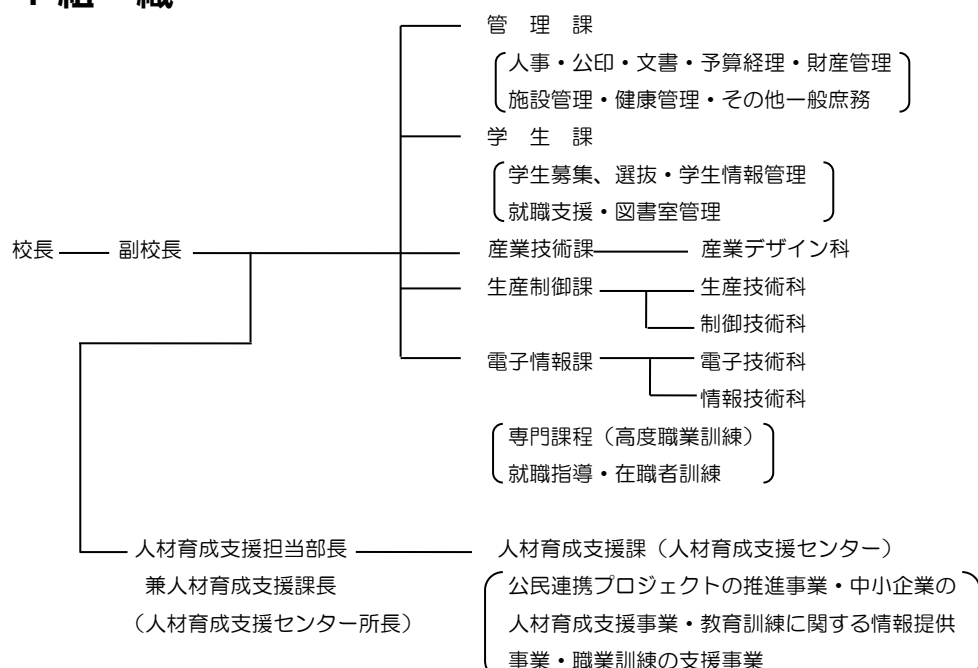
2-3 沿 革

- 昭和 61 年 4 月 1 日 神奈川県立の高等職業技術校等に関する条例の一部改正により、神奈川県立横浜工業技術職業訓練所（昭和 39 年設置、統合時は神奈川県立横浜高等職業訓練校）及び神奈川県立技能訓練センター（昭和 44 年設置）を統合し、神奈川県立横浜高等職業技術校を横浜市旭区中尾 60 番地 1（現：中尾 2 丁目 4 番 1 号）に設置
- 平成 6 年 3 月 30 日 神奈川県立産業技術短期大学校条例公布
（平成 7 年 4 月 1 日施行、一部平成 6 年 10 月 1 日施行）
- 平成 6 年 7 月 8 日 労働大臣より神奈川県立産業技術短期大学校の設置認可
（労働省収能第 129 号）
- 平成 7 年 4 月 1 日 神奈川県立産業技術短期大学校開校
- 平成 8 年 3 月 31 日 神奈川県立横浜高等職業技術校を廃止
- 平成 22 年 4 月 1 日 支所として神奈川県立産業技術短期大学校人材育成支援センターを設置
- 平成 26 年 3 月 31 日 支所を廃止して神奈川県立産業技術短期大学校に統合
- 平成 31 年 4 月 1 日 離職者等委託訓練事業を神奈川県立東部総合職業技術校二俣川支所に移管

（参考）他県の職業能力開発短期大学校の開校状況

平成 5 年 4 月	山形県立産業技術短期大学校	平成 17 年 4 月	茨城県立産業技術短期大学校
平成 7 年 4 月	長野県工科短期大学校	平成 21 年 4 月	広島県立技術短期大学校
平成 9 年 4 月	熊本県立技術短期大学校	//	福島県立テクノアカデミー郡山
//	岩手県立産業技術短期大学校	平成 22 年 4 月	福島県立テクノアカデミー会津
平成 10 年 4 月	大分県立工科短期大学校	//	福島県立テクノアカデミー浜
平成 11 年 4 月	山梨県立産業技術短期大学校	平成 28 年 4 月	長野県南信工科短期大学校
平成 16 年 4 月	岐阜県立国際たくみアカデミー	令和 3 年 4 月	静岡県立工科短期大学校

2-4 組 織



2-5 定員・授業料等

(1) 設置学科・定員

学 科 名	1 学 年	2 学 年	総 定 員
生 産 技 術 科	40名 (3名)	40名 (3名)	80名
制 御 技 術 科	40名 (3名)	40名 (3名)	80名
電 子 技 術 科	40名 (2名)	40名 (2名)	80名
産 業 デ ザ イ ン 科	40名	40名	80名
情 報 技 術 科	40名 (2名)	40名 (2名)	80名
計	200名 (10名)	200名 (10名)	400名

注：() 内数字は留学生で内数。

(2) 学年及び学期 (学則による。※)

学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日まで、1年間を2期に分けて授業を実施します。

前 期 4月1日から 9月30日まで

後 期 10月1日から 3月31日まで

(3) 休業日 (学則による。※)

日曜日、土曜日、国民の祝日に関する法律 (昭和 23 年法律第 178 号) に規定する休日

開校記念日 7月 8日

夏季休業 8月 1日を含む週から 8月31日を含む週までの間の4週間

冬季休業 12月27日から 1月 5日

春季休業 修了日翌日から 入学式当日まで

(4) 授業時間 (学則による。※)

始 業 8時50分

終 業 16時10分 (水曜日は14時30分もしくは16時10分)

休 憩 12時00分から 13時00分

(5) 授業料等

区 分	入学検定料	入 学 料		授業料・聴講料	証明書交付 手数料
		入学選抜の合格 発表の日の1年 前から引き続き 神奈川県内に住 所を有する者	その他の者		
学 生	18,000円	112,800円	263,300円	年 額 390,000円	1通につき 400円
聴講生	9,900円	21,000円	49,900円	1単位 5,100円	

(※) 学期の区分、休業日、授業時間は、変更になることがあります。

2-6 入学試験実施状況(令和4年度・第28期生)

入試状況	募集	応募者	受験者	合格者	倍率	入学者	備考
推薦入試	125名	91名	90名	85名	1.06	85名	男 114名 女 42名
一般入試	65名	83名	82名	67名	1.22	63名	
一般入試留学生枠	10名	9名	9名	8名	1.13	8名	
合計	200名	183名	181名	160名	1.13	156名	

2-7 学年別応募・入学状況

		令和4年度生						令和3年度生					
		1年生						2年生					
		生産技術科	制御技術科	電子技術科	産業デザイン科	情報技術科	計	生産技術科	制御技術科	電子技術科	産業デザイン科	情報技術科	計
期間		2年	2年	2年	2年	2年		2年	2年	2年	2年	2年	
定員		40	40	40	40	40	200	40	40	40	40	40	200
応募者の経過	応募者	22(3)	26(1)	36(4)	42(28)	57(11)	183(47)	26(0)	18(2)	30(2)	43(25)	42(6)	159(35)
	受験者	22(3)	26(1)	35(4)	42(28)	56(11)	181(47)	26(0)	18(2)	30(2)	43(25)	42(6)	159(35)
	合格者	20(3)	26(1)	34(4)	40(28)	40(6)	160(42)	25(0)	17(2)	30(2)	42(25)	41(6)	155(35)
	辞退者	1(0)	0(0)	3(0)	0(0)	0(0)	4(0)	1(0)	1(0)	1(0)	3(0)	3(0)	9(0)
入学者		19(3)	26(1)	31(4)	40(28)	40(6)	156(42)	24(0)	16(2)	29(2)	39(25)	38(6)	146(35)
内、留学生		1(0)	3(0)	2(1)	-(-)	2(2)	8(3)	2(0)	2(0)	3(1)	-(-)	3(0)	2(0)
入学別	18歳	11(2)	18(0)	19(0)	35(25)	30(3)	113(30)	17(0)	9(1)	19(0)	31(24)	29(4)	105(29)
	19歳	4(0)	3(0)	7(2)	3(1)	4(0)	21(3)	3(0)	4(0)	3(0)	5(1)	3(0)	18(1)
	20~29	4(1)	5(1)	5(2)	1(1)	6(3)	21(8)	2(0)	3(1)	7(2)	3(0)	6(2)	21(5)
	30~39	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	2(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	2(0)
	40~49	0(0)	0(0)	0(0)	1(1)	0(0)	1(1)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	50~59	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	60歳以上	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
学歴別	高卒	18(3)	23(0)	28(3)	40(28)	38(4)	147(38)	21(0)	13(1)	26(0)	39(25)	34(4)	133(30)
	短大卒	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	大卒	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	1(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)
	その他	1(0)	3(1)	2(1)	0(0)	2(2)	8(4)	2(0)	3(1)	3(2)	0(0)	4(2)	12(5)
住居別	横浜	9(1)	3(0)	8(1)	14(10)	15(1)	49(13)	12(0)	7(0)	13(1)	15(8)	15(2)	62(11)
	川崎	2(1)	3(0)	2(0)	4(3)	11(2)	22(6)	1(0)	4(0)	3(0)	1(1)	6(2)	15(3)
	相模原	1(0)	3(0)	4(0)	7(6)	3(0)	18(6)	2(0)	1(1)	1(0)	3(1)	2(1)	9(3)
	横須賀三浦	2(0)	2(0)	6(0)	4(2)	2(1)	16(3)	2(0)	1(0)	4(0)	5(4)	0(0)	12(4)
	県央	4(1)	3(0)	4(0)	7(4)	3(1)	21(6)	4(0)	2(1)	4(0)	4(2)	8(1)	22(4)
	湘南	0(0)	8(0)	3(2)	3(2)	3(1)	17(5)	2(0)	1(0)	3(0)	6(6)	4(0)	16(6)
	西湘	0(0)	1(0)	0(0)	1(1)	0(0)	2(1)	0(0)	0(0)	0(0)	1(1)	0(0)	1(1)
	足柄上	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	1(0)	1(0)	0(0)	0(0)	1(1)	1(0)	3(1)
	その他	1(0)	3(1)	4(1)	0(0)	2(0)	10(2)	0(0)	0(0)	1(1)	3(1)	2(0)	6(2)

注：() 内数字は女性で内数

2-8 就職の状況(令和3年度)

本校では、実践技術者として企業での活躍を志す人には就職の道を、さらに勉学を続けたい人には進学
の道をとるように、学生の意向を踏まえた進路指導を行っています。

特に就職希望者には、学生の希望や個性・能力を尊重して、専門技術分野に就職できるように、指導
を行っています。

令和4年3月31日現在

科 名		生 産 技 術 科	制 御 技 術 科	電 子 技 術 科	産 業 テ ザ イ ン 科	情 報 技 術 科	合 計	
定 員		40	40	40	40	40	200	
在 籍 者		22(2)	21(3)	28(1)	35(25)	33(5)	139(36)	
修 了 者		22(2)	20(2)	27(1)	35(25)	28(4)	132(35)	
就 職 希 望 者		22(2)	17(1)	25(1)	33(24)	28(4)	125(32)	
求 人 数		263	310	286	183	266	1308	
就 職 者		22(2)	15(1)	25(1)	32(23)	27(4)	121(31)	
自 営 (内数)		0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	
就 職 率 (%)		100(100)	88.2(100)	100(100)	97.0(95.8)	96.4(100)	96.8(96.9)	
就 職 状 況	地 域 別	横 浜	3(1)	3(0)	6(0)	10(8)	14(3)	36(12)
		川 崎	1(0)	1(0)	2(0)	0(0)	1(0)	5(0)
		相 模 原	2(0)	4(1)	0(0)	2(0)	0(0)	8(1)
		横須賀三浦	0(0)	0(0)	2(0)	0(0)	1(0)	3(0)
		県 央	3(0)	2(0)	2(0)	0(0)	0(0)	7(0)
		湘 南	8(0)	2(0)	1(0)	1(0)	0(0)	12(0)
		足 柄 上	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
		西 湘	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)
		東 京	4(1)	3(0)	10(1)	16(14)	11(1)	44(17)
		そ の 他	0(0)	0(0)	2(0)	3(1)	0(0)	5(1)
従 業 員 規 模 別	1~29	4(0)	0(0)	2(0)	6(5)	1(0)	13(5)	
	30~99	5(0)	2(0)	6(0)	7(4)	13(4)	33(8)	
	100~299	8(1)	2(1)	4(1)	10(7)	7(0)	31(10)	
	300~499	3(0)	7(0)	7(0)	0(0)	6(0)	23(0)	
	500~999	1(0)	0(0)	4(0)	2(2)	0(0)	7(2)	
	1000人以上	1(1)	4(0)	2(0)	7(5)	0(0)	14(6)	
平均賃金(円)		196,767	190,461	197,061	195,830	189,587	193,973	

注：() 内数字は女性で内数

就 職

令和 3 年度の状況 (令和 4 年3月末時点)

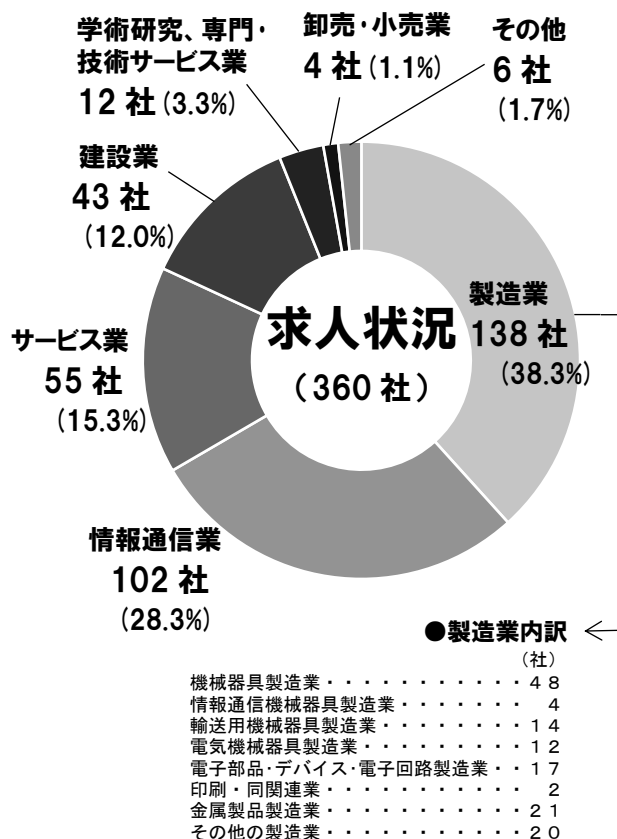
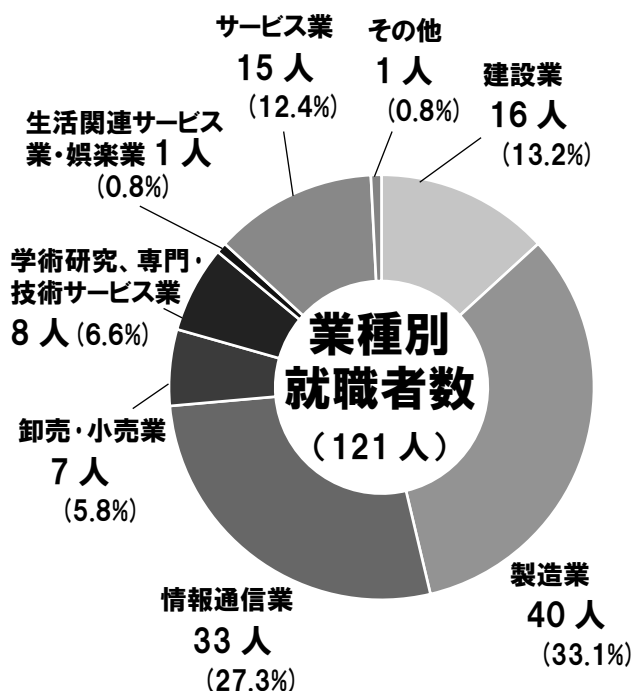
就職率

96.8%

就職者

121 人 / **125 人**

就職希望者



充実した就職活動支援

本校の就職活動は、1年生の前期の授業から始まります。夏季の企業実習（インターンシップ）に向けて、社会人としての基本的なマナーを学んでいます。さらに、年間を通じて、チューター（担任）とキャリアコンサルティングを行うなど、就職意識の向上を図っています。

1年次の終わりには、推進協議会の会員企業から説明を受ける「情報交流会」があり、就職活動がスタートします。さらに、学生が就職活動に悩んだときに気軽にアドバイスを受けられる体制を整え、さまざまな方法で学生の就職活動を支援しています。

個別サポート

学生の就職活動においては、各科のチューターや就職担当、学生課の求人開拓推進員が、企業選びから履歴書の書き方や面接の受け方指導まで、ステップを踏んで学生をサポートしています。



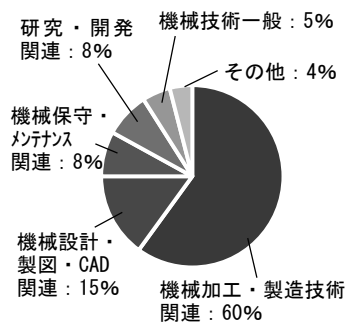
各学科の就職状況 (令和元年度～令和3年度 卒業生の主な就職先及び就職分野)

生産技術科

就職率

100%

(令和4年3月卒業生実績)



就職先

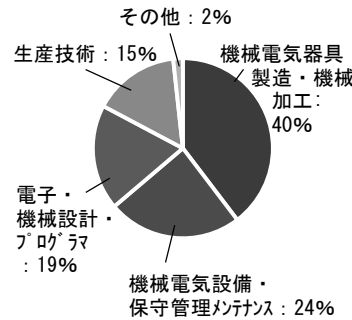
A T テクマック(株)/NECファシリティーズ(株)/愛宕精工(株)/荒木工業(株)/オサ機械(株)/河西工業(株)/(株)佐々木鉄工所/(株)共栄エンジニアリング/(株)ETSホールディングス/(株)アテック/(株)テクノステート/(株)マイスターエンジニアリング/(株)勝栄電業社/(株)テクモ/(株)安田製作所/(株)山喜/国家公務員(外務省)/新菱工業(株)/日本端子(株)/フレアーナガオ(株)/ワッティー(株)/(株)REJ/(株)オカモトオプティクス/(株)クレール/(株)タシロイーエル/(株)工研/(株)湘南精機/(株)足立機械製作所/京浜産業(株)/三和工機(株)/三和電機(株)/産和産業(株)/昭和精工(株)/湘南技術センター(株)/相模コンペヤー工業(株)/日本ギア工業(株)/日本クロージャー(株)/堀硝子(株)

制御技術科

就職率

88.2%

(令和4年3月卒業生実績)



就職先

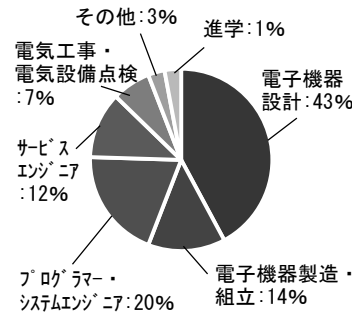
(株)IHI/(株)アイティ・イト/(株)アマダプレスシステム/荒木工業(株)/AGC(株)/(株)エクシオジャパン/NECファシリティーズ(株)/応用電機(株)/(株)オシキリ/(株)オリンピア・システムズ/(株)カナメックス/川崎自動車工業(株)/関東総業(株)/京浜産業(株)/(株)光電社/(株)佐々木鉄工所/三和工機(株)/産和産業(株)/シークス(株)/城山工業(株)/新光ネームプレート(株)/図研テック(株)/(株)須藤製作所/セントラル電子制御(株)/(株)テクノステート/(株)デストプラン/東亜合成(株)/(株)ニコンエンジニアリング/日産自動車(株)/日東エレベータ製造(株)/日本エンジニアリングソリューションズ(株)/日本ギア工業(株)/日本電設通信工事(株)/日本ビルコン(株)/日本リーテック(株)/ハル・エンジニアリング(株)/(株)ビーネックスソリューションズ/(株)日立産機システム/(株)マーク電子/(株)マイスターエンジニアリング/(株)マグトロニクス/マルマテクニカ(株)/(株)ミクニ/守谷輸送機工業(株)/山村フォトリクス(株)/ワッティー(株)

電子技術科

就職率

100%

(令和4年3月卒業生実績)



就職先

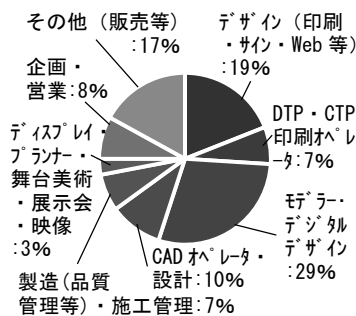
(株)REJ/(株)アイテクノ/(株)IJTT/(株)アイティ・イト/アンドールシステムサポート(株)/(株)イクス/出光興産(株)/AGC(株)/(株)エム・イー/エムデン無線工業(株)/応用電機(株)/大森電機工業(株)/(株)オキサイド/(株)カナメックス/技研電子(株)/共同カイツック(株)/(株)ケイテック/(株)古賀電子/(株)コムニク/サンコースブリング(株)/三波工業(株)/(株)ジェイエスピー/シークスエレクトロニクス(株)/(株)シノザワ/(株)シミズ・ビルライフケア/ジャパニア(株)/新興電設工業(株)/新日本電子(株)/(株)須藤製作所/ソレリア(株)/タカ電子工業(株)/(株)ティー・エム・シー/デジタルフォルン(株)/東電同窓電気(株)/東洋通信工業(株)/トランスコスモス(株)/日産自動車(株)/(株)日本アシスト/日本エンジニアリングソリューションズ(株)/日本ギア工業(株)/日本電設電車線工事(株)/日本ビルコン(株)/プライムエンジニアリング(株)/(株)マイスターエンジニアリング/(株)マグトロニクス/(株)mirate/ワッティー(株)

産業デザイン科

就職率

97.0%

(令和4年3月卒業生実績)



就職先

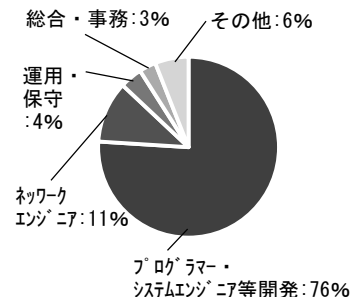
(株)アーク・アイ・コーポレーション/アシスト(株)/(株)アートプロジェクト/(株)アテック/井上鋼材(株)/(株)ウィズテックデザイン/(株)エイジェック/(株)エヌ・ケイ/(株)コア・エレクトロニクスシステム/(株)コンテック/(株)佐々木鉄工所/山協印刷(株)/(株)シバックス/湘南技術センター(株)/情報印刷(株)/図研テック(株)/(株)SUBARU/(株)創英/大成技研(株)/田中サッシュ工業(株)/(株)テクノアーク/東宝舞台(株)/(株)日産オートモーティブテクノロジー/日本ステージ(株)/(株)ノムラプロダクツ/(株)ピー・アンド・アイ/(株)文典堂/北斗(株)/(株)ユニバーサル建設/ヨコキ(株)

情報技術科

就職率

96.4%

(令和4年3月卒業生実績)



就職先

アークシステム(株)/(株)アールシーエス/(株)アイオライト/アウェイクアイ(株)/(株)アクロイト/(株)アパールデータ/(株)アプリコット/(株)エイジェック/エクシオ・システムマネジメント(株)/(株)エスシー・マシーナリ/(株)エフトレード/オオイテクノ(株)/(株)オリンピア・システムズ/技研電子(株)/(株)クロステック/(株)ケイテック/国際通信企画(株)/(株)コスモ/(株)コスモス/(株)三技協イオス/(株)ジェイエスピー/(株)システムクリエーション/システムバック(株)/システムワークスジャパン(株)/(株)ソフテム/(株)タシロ/(株)たまや/テクニカルジャパン(株)/(株)テクノウェア/(株)テクノシステムズ/(株)デジタルフォルン/(株)東京コンピュータシステム/東西(株)/日本エンジニアリングソリューションズ/(株)ハクエイ/ハル・エンジニアリング(株)/(株)VIPワークス/富士ソフト企画(株)/(株)フジソフトラボ/(株)山一情報システム/山下マテリアル(株)/リックソフト(株)

2-9 年度別就職状況

令和4年3月31日現在

科名	年度	在籍者	在籍者の内 就職希望者	内定者	内定率	従業員 301名以上	従業員 300名以下	就職者の内		未定者
								自己開拓	自営	
生産技術科	H29	29 (5)	29 (5)	29 (5)	100.0 (100.0)	8 (1)	21 (4)	0	0	0
	H30	34 (4)	34 (4)	34 (4)	100.0 (100.0)	10 (1)	24 (3)	1	0	0
	R01	22	22	22	100.0 (100.0)	7	15	0	0	0
	R02	22 (1)	21 (1)	21 (1)	100.0 (100.0)	3	18 (1)	1	0	0
	R03	22 (2)	22 (2)	22 (2)	100.0 (100.0)	5 (1)	17 (1)	0	0	0
制御技術科	H29	34 (1)	32 (1)	28 (1)	87.5 (100.0)	11	17 (1)	0	0	4
	H30	34 (4)	27 (3)	27 (3)	100.0 (100.0)	16 (1)	11 (2)	2	0	0
	R01	24 (1)	21 (1)	20 (1)	95.2 (100.0)	9	11 (1)	0	0	1
	R02	25 (2)	22 (1)	22 (1)	100.0 (100.0)	3	19 (1)	2	0	0
	R03	21 (3)	17 (1)	15 (1)	88.2 (100.0)	11	4 (1)	1	0	2
電子技術科	H29	30 (1)	24 (1)	23 (1)	95.8 (100.0)	14 (1)	9	0	0	1
	H30	27 (1)	26 (1)	26 (1)	100.0 (100.0)	13 (1)	13	1	0	0
	R01	36 (4)	35 (4)	33 (4)	94.3 (100.0)	14 (1)	19 (3)	1	0	2
	R02	24	21	21	100.0	0	21	1	0	0
	R03	28 (1)	25 (1)	25 (1)	100.0 (100.0)	13	12 (1)	1	0	0
産業 デザイン科	H29	39 (35)	39 (35)	39 (35)	100.0 (100.0)	12 (11)	27 (24)	4	0	0
	H30	33 (25)	33 (25)	33 (25)	100.0 (100.0)	3 (2)	30 (23)	4	0	0
	R01	30 (19)	29 (19)	29 (19)	100.0 (100.0)	6 (3)	23 (16)	0	0	0
	R02	33 (24)	30 (21)	27 (19)	90.0 (90.5)	14 (11)	13 (8)	0	0	3 (2)
	R03	35 (25)	33 (24)	32 (23)	97.0 (95.8)	9 (7)	23 (16)	16	0	1 (1)
情報技術科	H29	38 (10)	35 (10)	35 (10)	100.0 (100.0)	5 (2)	30 (8)	4	0	0
	H30	33 (4)	31 (4)	31 (4)	100.0 (100.0)	4	27 (4)	0	0	0
	R01	28 (1)	24 (1)	21 (1)	87.5 (100.0)	1	20 (1)	0	0	3
	R02	34 (5)	29 (5)	23 (5)	79.3 (100.0)	5 (2)	18 (3)	2	0	6
	R03	33 (5)	28 (4)	27 (4)	96.4 (100.0)	6	21 (4)	0	0	1
合 計	H29	170 (52)	159 (52)	154 (52)	96.9 (100.0)	50 (15)	104 (37)	8	0	5
	H30	161 (38)	151 (37)	151 (37)	100.0 (100.0)	46 (5)	105 (32)	8	0	0
	R01	140 (25)	131 (25)	125 (25)	95.4 (100.0)	37 (4)	88 (21)	1	0	6
	R02	138 (32)	123 (28)	114 (26)	92.7 (92.9)	25 (13)	89 (13)	6	0	9 (2)
	R03	139 (36)	125 (32)	121 (31)	96.8 (96.9)	44 (8)	77 (23)	18	0	4 (1)

注：（ ）内は女性で内数

求人状況

年度	求人企業数	300名超
H29	424	65
H30	472	89
R01	459	110
R02	350	87
R03	360	102

年度	求人数	300名超
H29	1,074	234
H30	1,080	287
R01	1,486	648
R02	1,240	619
R03	1,308	736

2-10 年度別就職先企業一覧

	就職先企業名	平成29年度 卒業生	平成30年度 卒業生	令和元年度 卒業生	令和2年度 卒業生	令和3年度 卒業生	過去5年間 合計
1	(株)エイジェック	5	1	2	8	3	19
2	(株)ケイテック	5	1	3	2	2	13
3	日産自動車(株)	2	4	1	1	3	11
4	エクシオ・システムマネジメント(株)	0	0	0	2	8	10
5	日本ビルコン(株)	3	1	1	3	2	10
6	(株)アールシーエス	1	3	1	3	1	9
7	(株)オリンピア・システムズ	4	1	2	1	1	9
8	日本ギア工業(株)	1	1	2	2	2	8
9	(株)マイスターエンジニアリング	0	2	2	0	4	8
10	(株)アピリカ	4	1	1	0	1	7
11	応用電機(株)	0	1	2	2	2	7
12	(株)佐々木鉄工所	0	2	1	3	1	7
13	(株)テクモ	2	1	1	3	0	7
14	(株)マグトロニクス	0	2	2	1	2	7
15	A T テクマック(株)	2	1	1	1	1	6
16	NECファシリティーズ(株)	2	2	1	1	0	6
17	オサ機械(株)	2	1	2	1	0	6
18	(株)I J T T	3	3	0	0	0	6
19	昭和精工(株)	0	2	2	1	1	6
20	(株)V I P ワークス	2	2	2	0	0	6
21	(株)ユニバーサル建設	2	1	1	2	0	6
22	ヨコキ(株)	2	1	2	1	0	6
23	(株)アテック	2	2	1	0	0	5
24	(株)エム・イー	0	2	0	1	2	5
25	関越ソフトウエア(株)	1	4	0	0	0	5
26	京浜産業(株)	2	1	1	0	1	5
27	建通エンジニアリング(株)	5	0	0	0	0	5
28	産和産業(株)	2	1	0	1	1	5
29	システムパック(株)	0	1	1	1	2	5
30	システムワークスジャパン(株)	2	1	2	0	0	5
31	湘南技術センター(株)	2	1	0	0	2	5
32	図研テック(株)	2	1	0	1	1	5
33	デジタルフォルン(株)	0	0	0	4	1	5
34	(株)日立産機システム	2	2	1	0	0	5
35	(株)ヒップ	0	3	2	0	0	5
	その他	91	98	85	68	77	419
	計	153	151	125	114	121	664

2-11 令和3年度トピックス

テレビ・ラジオでの短大校の紹介



2021年9月5日
めざせ！実践技術者～未来を支えるエンジニア～

特集

めざせ！実践技術者～未来を支えるエンジニア～
今回のカナフルTVは！
実践技術者を育成する「産業技術短期大学校」
通称「サンギタン」を特集！
昨年度の就職率はなんと「92.7%」
高い就職率、一体その理由とは？
実際に働く卒業生の活躍も取材してきました。
そして、スタジオには半年以上ぶりに平野良さんが登場です！！



9月11日（土曜）産業技術短期大学校に行こう！



●令和4年9月

tvk「カナフルTV」の9月5日(日)の放送で、【めざせ!実践技術者～未来を支えるエンジニア～】という題で、短大校が紹介されました。学生による学科紹介、留学生のインタビューや、卒業生の紹介まで、いい感じでまとまっています。まだの方は、こちらのURLからご覧ください。(https://www.tvk-yokohama.com/kanafu/2021/09/202195.html)

また、FMヨコハマで毎週土曜日8時30分から放送の「KANAGAWA Muffin」において、9月11日に【産業技術短期大学校へ行こう!】というテーマで放送がありました。収録当日は、DJの金子 桃さんが来校し、校内各所を回りレポートしてくれました。

「テクニカルショウヨコハマ2022」に出展



●令和4年2月2日(水)～4日(金)

首都圏最大級の総合見本市「テクニカルショウヨコハマ2022」に出展しました。リアル展示では、短大校並びに推進協議会に関する紹介パネルや学生の卒業研究作品を展示して、来場者にPRを行いました。

オンラインによる出展者セミナーには、当校の杉原講師による「動画教材『制御プログラム実習』」を出展しました。

185社が参加して「職業能力開発情報交流会」を開催



●令和4年3月9日(水)～10日(木)

令和5年3月に卒業予定の1年生を対象とした「職業能力開発情報交流会」を開催しました。オミクロン株の感染急拡大で一時は対面での開催も危ぶまれましたが、昨年の163社を上回る会員企業様にご参加いただきました。学生は興味のある企業ブースを複数訪問し、会社概要や業務内容の説明を受け、実質的な就職活動のスタートとなりました。

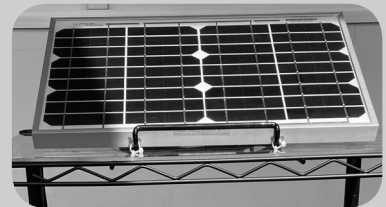
「ものづくりシッププロジェクト」7作品を認定



●令和4年3月16日(水)

学校や職員が必要としている「もの」を、学生が卒業研究等で制作し、実際の使用に耐える作品を認定する「ものづくりシッププロジェクト」制度を実施しています。令和3年度は、次の7点が認定されました。

生産技術科	磯貝 蓮さん「VA新治具を搭載した半自動機」
産業デザイン科	MATSUMOTO WATANABE CINTHYA HIKARIさん「一体型ベンチテーブル」
産業デザイン科	鈴木 孝実さん「塗装実習室用収納棚」
産業デザイン科	鈴木 志韻さん「ゴミ箱収納兼スプレーのりブース」
産業デザイン科	颯田 堅斗さん「CG室入口産業デザイン科ブース」
産業デザイン科	鈴木 柊さん「多目的実験・実習室収納型ベンチ」
電子技術科	千葉 隼さん「スマホ充電ステーション」



2-12 第16回若年者ものづくり競技大会

第16回大会は、愛媛県松山市で開催されました。令和2年の第15回大会がコロナの影響で中止となり、2年ぶりの大会となりました。

新型コロナウイルス感染者が増加している時期で、開催を不安視する声もありましたが、徹底した感染拡大防止対策が行われ、競技は無事に行われました。当初予定されていた一般来場者の入場が制限され、併催イベントが中止されるなどの影響がありましたが、一方で、インターネットにより競技の様子がLive配信されました。

短大校からは、4職種に4名の学生が参加しました。学生にとっては、練習の成果が発揮できる場があったことは良かったです。その中、「機械製図 (CAD)」職種 (選手21名) に参加した磯貝 蓮さんが、8位取調賞を獲得しました。当該職種は、第10回大会から挑戦を始め、初の入賞になります。

機械製図 (CAD) 職種



生産技術科 磯貝 蓮さん

旋盤職種



生産技術科 鈴木源太さん

「電子回路組立て」職種

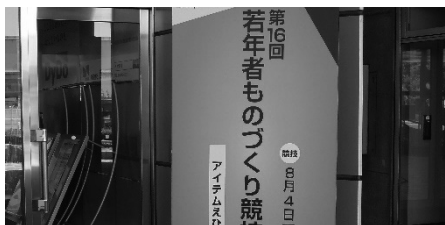


電子技術科 田邊慶祐さん

「グラフィックデザイン」職種



産業デザイン科 石渡志もなさん



2-13 公開講座(グッドヒューマンネットワーク講座)

様々な分野で活躍している方をお招きし、業界の最新事情や貴重な体験をご講演いただきました。

- 第35回 令和3年9月8日(水) (短大校 大教室 及び校内オンライン配信で開催)
 講師:NPO法人SoELa、他関係団体の方々
 テーマ:「自ら目標を掲げ、挑戦する!～自律的・主体的に行動し社会に貢献する若い力～」

- 第36回 令和4年3月14日(月) (短大校 大教室 及び校内オンライン配信で開催)
 講師:いすゞ自動車株式会社
 広報・渉外部 広報グループ シニアエキスパート 中尾 博 氏
 テーマ:「働くクルマのものづくりストーリー」

過去の実施状況

- 令和2年度 第34回: 長田展明 氏(葛が谷つばさクリニック院長)
 「新型コロナウイルスに負けるな! ~正しい情報と防御対策を~」
- 令和元年度 第33回: 平田大登 氏(横浜市国際学生会館館長)
 「留学生と学び、外国人と生きる~日本を選ぶ留学生への支援と今後急増する外国人との共生について~」
- 第32回: 石田太志 氏(プロフットバッグプレイヤー)
 「目標の達成、夢の実現 ~行動する勇気と継続する情熱~」
- 平成30年度 第31回: 平田直 氏(東京大学地震研究所教授)他
 「最新の観測と防災知識によって、大地震に備える」
- 第30回: 蜜咲ばう 氏(飴細工師)、marino 氏(歌う紅茶屋さん)
 「自分の可能性を切り開く ~飴細工アーティストと紅茶アーティストの未知なる挑戦~」
- 平成29年度 第29回: 三遊亭楽麻呂 氏(落語家)
 「話し方のコツ」
- 第28回: 根本明 氏(株式会社石音代表取締役)
 「目のつけどころの鍛え方 ~面白い人をめざそう~」
- 平成28年度 第27回: 住田一男 氏(一般社団法人人工知能学会事務局長)
 「人工知能は人の仕事を奪うのか?」
- 第26回: 川名マッキー 氏(株式会社ビー・キューブ代表取締役)
 「スムーズなコミュニケーション術」
- 平成27年度 第25回: 篠原雅尚 氏(東京大学地震研究所観測開発基盤センター)
 「新技術で進展する海域における地震・津波観測」
- 第24回: 吉田尚記 氏(株式会社ニッポン放送アナウンサー)
 「コミュニケーションの極意」
- 平成26年度 第23回: 岩崎育夫 氏(森永製菓株式会社コーポレートコミュニケーション部広告グループデジタルコミュニケーション担当)
 「web動画を活用したコミュニケーション戦略」
- 第22回: 森下信 氏(横浜国立大学教授 環境情報研究院長 環境情報学府長 工学博士)
 「最先端ロボット開発の現状と将来像」
天野久徳 氏(消防庁消防研究センター特別上席研究官 博士(情報学))
 「消防活動におけるロボット技術の活用」
- 平成25年度 第21回: 大嶋龍男 氏(JAXA広報部特任担当役)
 「宇宙開発の可能性と未来 ~日本のロケット開発と実用衛星の開発~」
- 第20回: 根日屋英之 氏(株式会社アンブレット代表取締役)
 「未来コミュニケーションツール ~人体通信最前線~」
- 平成24年度 第19回: 久住昌之 氏(漫画家・音楽家)
 「表現における自由と不自由」
- 第18回: 松田良夫 氏(東レ株式会社研究本部研究・開発企画部主幹担当部長)
 「先端材料こそ地球を救う ~東レの研究・開発戦略~」

2-14 令和3年度年間行事

月 日	行 事 内 容	対 象
4月5日(月)	入学式(新入生146名 うち男性112名、女性34名)	1年生
4月6日(火)～9日(金)	オリエンテーション	1年生
4月21日(水)	防災避難訓練	学生・職員
7月8日(木)	開校記念日	
7月26日(月)～8月20日(金)	夏季休業	学生
8月23日(月)、26日(木)	授業見学会(参加者11名)	高校教諭
9月25日(土)	文化祭(中止)	
9月29日(水)	健康診断	学生
11月17日(水)	防災避難訓練	学生・職員
11月19日(金)	公募推薦及び第1回一般入学選抜試験	
12月9日(木)	就職ガイダンス	1年生
12月27日(月)～1月5日(水)	冬季休業	学生
1月18日(火)～1月27日(木)	総合技能演習、技能照査、企業実習(インターンシップ)	学生
1月28日(金)	第2回一般入学選抜試験	
2月9日(水)～3月4日(金)	卒業研究発表	2年生
3月17日(木)	卒業式(卒業生132名 うち男性97名、女性35名)	2年生
3月18日(金)～4月5日(火)	春季休業	在校生
3月18日(金)	進級発表	1年生

就職説明会

6月15日(火)～16日(水)	合同企業説明会 (参加企業：155社、内推進協会企業111社)	2年生
3月9日(水)～10日(木)	職業能力開発情報交流会 (参加企業：推進協会企業185社)	1年生

公開講座

9月8日(水)	グッドヒューマンネットワーク講座(NPO法人SoELa他)	学生
3月14日(月)	グッドヒューマンネットワーク講座(いすゞ自動車(株)中尾博講師他)	学生

オープンキャンパス

6月20日(日)	オープンキャンパス(第1回学校説明会、エンジニアセミナー) (参加者延80名)(留学生1名)	一般・高校生・ 保護者・留学生
8月6日(金)	オープンキャンパス(第2回学校説明会、エンジニアセミナー) (参加者延72名)	一般・高校生・ 保護者・留学生
8月18日(水)	オープンキャンパス(第3回学校説明会、エンジニアセミナー、入試説明会) (参加者延52名)	一般・高校生・ 保護者・留学生
10月3日(日)	オープンキャンパス(第4回学校説明会、入試説明会) (参加者延31名)	一般・高校生・ 保護者・留学生
12月12日(日)	オープンキャンパス(第4回学校説明会、入試説明会) (参加者延27名)	一般・高校生・ 保護者・留学生
1月30日(日)	高校2年生向けオープンキャンパス(適職診断、施設見学) (参加者延11名)	高校2年生・ 保護者

2-15 企業在職者のための能力開発施設としての機能

(1) 事業の概要

本校は、専門課程の高度職業訓練の実施とともに、本県の職業能力開発を推進する中核施設として、職業技術の高度化に対応する企業在職者のための能力開発や、施設の利用援助事業を実施しています。

(2) 在職者等訓練事業の計画と実績

企業の在職者を対象に、メニュー型及びオーダー型の専門短期課程の高度職業訓練を実施しています。

- ・メニュー型・・・「スキルアップセミナーガイド2022」やホームページ等で広報を行い、機械、制御、電子、情報、デザインの各分野及び、管理・経営・階層別の2日間または4日間のセミナーを実施しています。
- ・オーダー型・・・企業の方々からの相談に応じて、受講者の要望に沿った内容のセミナーを企画し実施しています。

(数字は延べ人数)

職系・科名	令和4年度計画	令和3年度	
		計 画	実 績
生産技術科	140 (130、 10)	140 (130、 10)	81 (71、 10)
制御技術科	120 (110、 10)	120 (110、 10)	58 (58、 0)
電子技術科	130 (120、 10)	130 (120、 10)	88 (74、 14)
産業デザイン科	140 (130、 10)	140 (130、 10)	74 (74、 0)
情報技術科	370 (130、 240)	370 (130、 240)	232 (97、 135)
生産管理系	600 (600、 0)	600 (600、 0)	387 (387、 0)
合 計	1,500 (1,220、 280)	1,500 (1,220、 280)	920 (761、 159)

※ () 内の数字は、(メニュー型、オーダー型)の内数

(3) 施設の利用援助事業

法に基づき、事業主などが行う職業訓練・技能検定等に対し、その実情に応じて必要な援助等を行っています。

- ・事業内職業訓練に関する援助・・・ 神奈川県塗装技能訓練校 他3団体
- ・技能検定等に関する援助・・・・・・ (一社)神奈川県プラスチック工業会 他

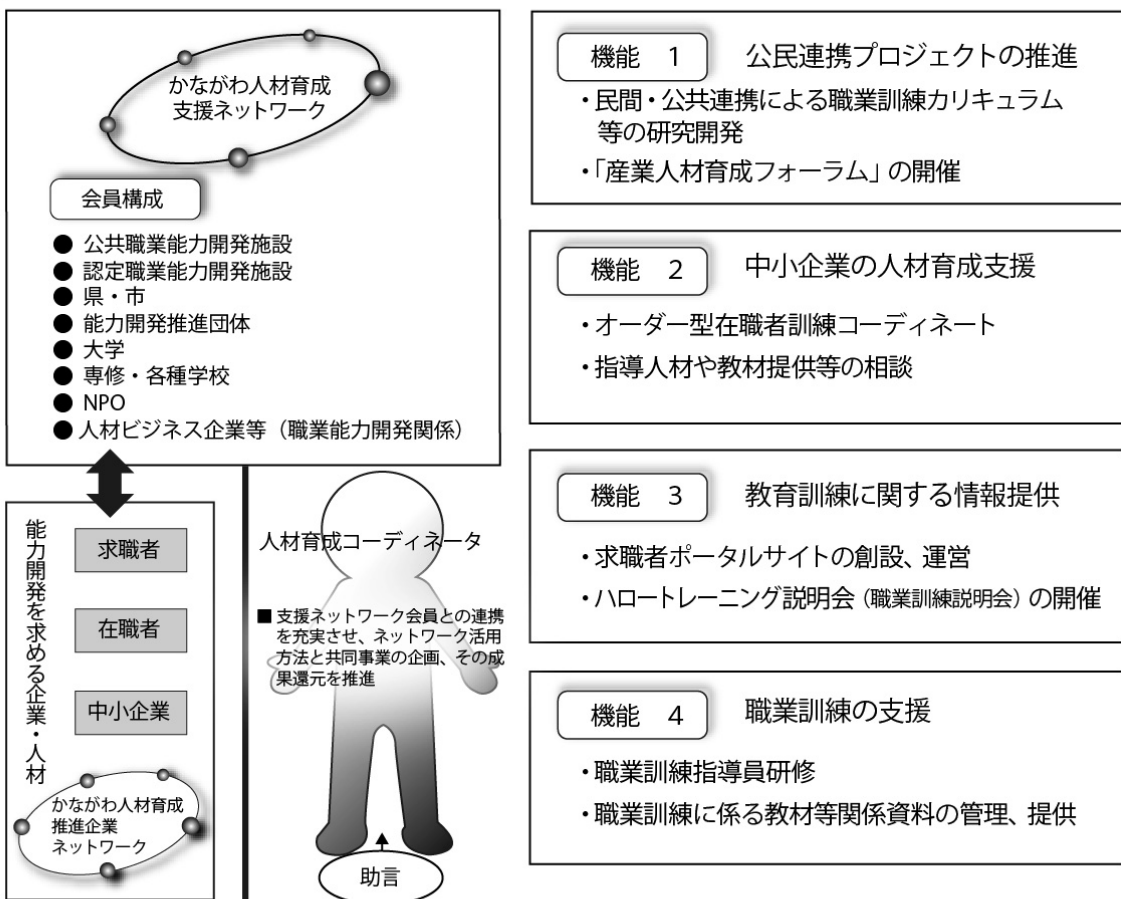
2-16 人材育成支援センターとしての機能

本校では、職業能力開発における本県の中核施設の機能を果たすため、「人材育成支援センター」を設置し、民間と公共の連携によるカリキュラム開発や中小企業の人材育成支援、求職者への教育訓練情報の提供等を推進しています。

産業技術短期大学校人材育成支援センター 概念図

設置主旨：公共と民間とが連携し、社会全体で職業能力開発を推進するための中核機能として設置 (H16)

- 能力開発を求める求職者・中小企業に対して
公共と民間が有する教育訓練に関する情報（施設、指導人材、ノウハウ等）の提供や相談等を行うことにより、主体的な能力開発を支援
- 能力開発実施機関に対して
公共と民間が共同して職業訓練カリキュラム等の開発・調査研究等を行い、就職に結びつく能力開発や効果的な従業員教育が実施できるよう支援



- 推進体制**
- 幹事会**
 - 公共・民間の中堅実務者の参画により、人材育成支援センター事業を推進。
 - ネットワークの連携及び充実方策に関して協議する。
 - 教育訓練資源の情報提供や、職業能力開発に係る調査、研究、開発に係る事業の運営に関して、支援センターの求めに応じて助言する。
 - ネットワークへの入会を承認する。
 - 職業訓練カリキュラム等開発研究会**
 - 公共・民間の実務者の参画により、共同してプロジェクトを推進。

人材育成支援センターは、主として次の4つの機能を有し、人材育成に関する総合的な支援の拠点としての役割を果たしています。各事業の内容と令和3年度の実績は次のとおりです。

(1) 公民連携プロジェクトの推進

職業能力開発に係る多様な教育訓練資源を有する民間団体（各種学校、企業、NPO法人等）と公共職業能力開発施設等が相互に連携し、人材の育成活動、事業を支援するかながわ人材育成支援ネットワーク（191会員）の協力のもと、情報の共有化と教育訓練資源の充実を図っています。また、かながわ人材育成推進企業ネットワーク（496企業）を運営し、会員企業に人材育成に関わる情報を提供するとともに、人材育成に関するニーズを把握し、事業に活かしています。

① 民間・公共連携による職業訓練カリキュラム等の研究開発

上記のニーズ把握に基づき、職業訓練カリキュラムの開発をはじめとする調査研究を行っています。

また、調査研究の成果をもとに本校で開催する在職者等訓練においてセミナーを実施するとともに、成果物であるテキストを希望する企業・団体に提供するなど、幅広く活用できるようにしています。

令和3年度 実績	2テーマの調査研究を実施 ・新入社員フォローアップ研修プログラム開発 ・社内コミュニケーション活性化研修プログラム開発
----------	---

② 「産業人材育成フォーラム」の開催

かながわ人材育成支援ネットワーク会員をはじめとする企業等の在職者、求職者等に対し、職業能力開発に関する意識啓蒙や教育訓練に関する情報を広く提供するため、「産業人材育成フォーラム」を開催しています。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、対象を短大校学生のみとし、校内オンライン配信で実施しました。

令和3年度 実績	令和3年9月8日 自ら目標を掲げ、挑戦する！ ～自律的・主体的に行動し社会に貢献する若い力～ 講師 NPO法人 SoELa(ソエラ) 岡部佳文氏 他
----------	--

(2) 中小企業の人材育成支援

① オーダー型在職者訓練コーディネート

従業員に対し企業内部で教育訓練を行うことが難しい中小企業等からの相談に応じて実施する、オーダー型在職者訓練のコーディネートを行っています。

当センターに所属する在職者訓練コーディネータ4名が企業を訪問し、訓練ニーズを把握し、日程や訓練内容等の要望を伺い、職業技術校等での訓練実施に向けて調整を行います。

② 指導人材や教材提供等の相談

オーダー型在職者訓練のコーディネートの過程で寄せられたさまざまなニーズに対して、他機関が実施する訓練や指導人材の紹介、教材の提供など、きめ細かく的確な支援ができるよう努めています。

令和3年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・オーダー型在職者訓練のコーディネート件数 ・オーダー型在職者訓練実施講座数 ・指導人材や教材提供等の相談や紹介件数 	2,711件 57講座 25件
---------	--	-----------------------

(3) 教育訓練に関する情報提供

① 求職者ポータルサイトの運営

民間・公共の教育訓練資源情報(講習会、施設、教材、カリキュラム等)を一元化し、インターネット等で情報提供するとともに、求職者が適職相談や就職対策講座、職業訓練相談などに関する情報を取得できるポータルサイトを運営しています。

② ハロートレーニング説明会(職業訓練説明会)の開催

求職者等へのキャリア支援のため、公共職業安定所等で説明会を開催し、神奈川県立の短大校や職業技術校等のみならず、他機関が実施する公共職業訓練についても幅広く情報を提供するとともに、職業訓練に関わる受講相談を受け付けています。

令和3年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・動画版「ハロートレーニング説明会」視聴回数 ・ホームページを利用した情報等の提供件数 	1,820回 54,291件
---------	--	-------------------

(4) 職業訓練の支援

① 職業訓練指導員研修

短大校や職業技術校等で訓練を担う指導員の指導スキル向上のため、「職業訓練指導員研修委員会」を設置して、委員会の運営から受講手続き、受講後のフォローまでを一貫して行っています。

指導員個々の専門的な知識・技術・技能を高めるための研修はもとより、特に近年は教育現場のハラスメント問題への対応や、特別な配慮を必要とする訓練受講者への対応が課題となっているため、指導員全員の共通能力向上を目的に、そうしたテーマの研修を継続的に企画・実施しています。

② 職業訓練に係る教材等関係資料の管理、提供

収集した職業能力開発に関わる資料や教材、当センターで開発した教材や研究開発の成果物を管理し、関係各機関からの要請を受け提供を行っています。また、神奈川方式の訓練単位について、各総合職業技術校及び神奈川障害者職業能力開発校からの依頼を受け、登録作業を行っています。

令和3年度実績	職業訓練指導員研修の受講者数	74コース 614名
---------	----------------	------------